

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）
（分担）研究報告書

がんの診療科DBとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用
（H22-3次がん-一般-043）

研究分担者 佐々木茂 信州大学包括的がん治療学講座 助教

研究要旨

「がん登録」と共に「放射線治療の推進」の基盤となる放射線治療部門DBを発展させた全国的ながん診療、特に治療の質評価のためのデータベースJNCDBの実運用を行う。さらに臓器別がん登録の母体である診療科DB整備を支援して院内、地域がん登録とJNCDBとのデータ連携を進め、がん登録全体の質向上に貢献する。

A．研究目的

JNCDBの実運用すなわち全国的な診療、特に治療の質の評価のためのデータ収集・分析を行い、施設に還元する。さらに診療科DB（臓器別がん登録）の標準化、院内、地域がん登録とのデータ連携を進め、入力重複の現場負担を軽減し、データの質向上を図る。

B．研究方法

昨年に引き続きJNCDBの改定作業を進めた。DBの基本項目は臨床的に有用な項目を追加し、データ収集による利点が少ないものを削除した。また入力の充足率を上げるようにするためのレイアウトを確認した。

当施設ではJNCDBが実運用された場合にデータ連携が行えるよう、既存DBに症例登録を継続して行った。

C．研究結果

DBの基本項目がブラッシュアップされ、基本項目の入力時間を考えると一般臨床でも使用できる状態になりつつある。臓器別DBについては入力項目にランク付けが行われており、各施設の登録業務の負担に合わせて必須項目数を減らすことが可能な一方、ランクの低い項目も残すことにより状況に合わせて段階的に詳細なデータも入力できるようになっている。

D．考察

JNCDBの登録フォーマット基本入力項目の見直しを行い、必須項目数や入力時間の点では一般臨床でも容易に使用できるようになった。

E．結論

データ入力充足率を向上するための負担軽減を図る工夫が行われ、JNCDBの本格運用の基盤が整備された。

F．研究発表

1. 論文発表

1) 佐々木茂. 有棘細胞癌の放射線治療. 皮膚悪性腫瘍-基礎と臨床の最新研究動向. 日本臨床社. 518-520. 2013

2) 佐々木茂. 基底細胞癌の放射線治療. 皮膚悪性腫瘍-基礎と臨床の最新研究動向. 日本臨床社. 642-645. 2013

3) 佐々木茂. 放射線と肺発癌（治療後の二次発癌を含めて）. 最新肺癌学-基礎と臨床の最新研究動向. 日本臨床社. 146-149. 2013

2. 学会発表

なし

G．知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし